

3 「夢を追い続ける人 アーチェリー 坂野太一選手」 講演

岡崎市出身のアーチェリー選手 坂野太一さん

令和7年2月10日



岡崎市出身のアーチェリー選手、坂野太一さんをお迎えして、「夢を追い続けること・持ち続けること」についてご講演と、実演（実射）をしていただきました。

最初は、運動場で実射です。競技アーチェリーには3種類の弓があり、坂野選手はそのすべてで日本一になったことのあるただ一人のアーチャーです。18Mはオリンピック種目であるリカーブで。50Mは、照準器も安定器もない弓道の弓に一番近く、狙いを定めるのが難しいベアボウで。風に揺られる風船に何度か嫌われましたが、見事命中。最後は70Mをコンパウンドという弓で。狙いを定める坂野選手に、見ている子供たちからは、「がんばれ」という声援。その一瞬の後、風船の破裂音とともに大歓声が上がりました。講演では、子供たちにわかりやすく、ゲームやアニメに例えながら「好きなことをみつけて」「失敗を引きずらない」「新しい目標を見つける」とキーワードを示しながら、夢を追い続けることについてお話をしていただきました。休み時間には一緒になわとびをするなど、温かい交流もしていただきました。

実射もさることながら、坂野選手のお話で、子供たちの夢に向かう気持ちや挑戦する気持ちが大きく膨らみました。

わたしも、ばんのせんしゅのはなしをきいて、落ちこむのは、その日まで、とおもってがんばります。(1年女子)

しっぱいは、せいこうのもとって、いわれて、いまならっているやつもがんばろうっておもいました。(1年女子)

私は、好きこそもの上手なれという言葉が気に入りました。

私も、夢に向かって頑張ろうと思いました。(2年女子)

坂野太一選手の話聞いて私も好きなことを頑張って続けようと思いました。(4年女子)

坂野選手が弓を持った姿がかっこよかったです。私も太一選手みたいに学校を頑張ります。(5年女子)

体育館のお話で、切り替えと、目標と好きなことを大事にしたいと思います。(5年男子)

私も夢を目指して頑張りたいになりました。(3年女子)

私は坂野選手が夢を持ち続けることを話してくれて勇気をもらいました。私にも夢があってやめようか迷っていたからです。(4年女子)